

委員会の審査から

市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願等、各所管事項について詳細にわたり審査を行いました。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

企画 総務

町田市外部監査契約に基づく監査に関する条例

委員 外部監査人になってもらう人は、法律で定められていると思うが、どういった人が対象となるのか。

担当者 法律上、資格については弁護士、公認会計士、税理士、監査事務の精通者ということになっています。あとは、公共団体の財務管理、事務の経営管理、その他の行政運営に關してすぐれた識見を有する者という条件が付されています。

委員 今の監査機能に対し

てどういう部分を補おうとしているのか。

担当者 より広く専門的な見地から町田市の財政等を見ていただき、行政や財政について、より透明性を高めていくことが大切なことだと認識しています。

市民意識調査委託料

委員 今回の市民意識調査の内容は、今の広報が市民にどう読まれているかを今後の編集に生かしていくということなのか。

担当者 市民は本来どういうふうを考えているのか、今の広報についての印象はどのようなものなのかを聞きたい。総合的に町田市の行政を知っていただくため、毎号さまざまな対応をして総合的に信頼できる広報紙をつくっていく

文教 生活

地域安全活動補助金

委員 防犯パトロール隊の効果はどうか。

担当者 平成一五年当時、最も犯罪が発生したが、防犯パトロール隊が立ち上げられて以来、年数を追うごとに犯罪の発生件数が減ってきました。

委員 補助対象団体は町内会・自治会に限定されており、NPO団体の発足を妨げているのではないかとこの声があるが、見直す必要についてどう考えているのか。

担当者 補助金は今年度で

廃棄物処分委託料

委員 どのようなサイクルを行うのか。

担当者 廃棄物というのは機密文書です。今まで機密文書は焼却をしていましたが製紙工場に持ち込んで溶解処理を行い、トイレットペーパーをつくることになりました。

保健 福祉

学童保育クラブ整備費

委員 一小学校区一学童保育クラブを進めているやさきに、国が全児童対策を打ち出

らい必要だと判断しました。小・中一貫教育カリキュラム作成支援業務委託料

委員 どのような形でコンサルタントに委託するのか。

担当者 町田市で基本方針や基本提案をつくり、それを具体化、補強するためのデータ作成について協力をいただくということですが、具体的なことは、

都市 環境

原町田二丁目第二駐車場指定管理者の指定について

委員 今回、公募は行った

してきているが、市としての今後の考え方は。

担当者 残りの学童保育クラブは、全力を挙げてやっていきたい。全児童対策は、今年度中に検討委員会を立ち上げ、今の学童保育クラブとどうマッチングしていくのか、十分教育委員会とも相談して、学校の現場の先生の意見も聞きながらやっていきたい。

町田市病院事業会計決算認定

委員 無料のベッドについては八二%の入院率で、差額ベッドは七五%。普通、無料から入っていったら、それでもいっぱいだから差額の方をお願いするのではないのか。

担当者 まず最優先で無料部屋に入れるようにしていますが、もう少し全体のベッドの利用率が上がれば、無料部屋の利用率が上がっていくのではないかと思います。

委員 院外処方はどこに広がるか、それによって病院の中で取り扱う薬品類等がどう変化しているのか。

担当者 昨年度は四五・三%であり、新棟が完成するころには一〇〇%近くになると思いますが、院外処方が増えれば病院の医薬品の在庫が減り、その分コストが下がります。

委員 薬価差益は、どういう動向になっているのか。

担当者 年々圧縮されていますが、まだおおむね二億程度あり、少なくとも二期・三期工事のときには切りかえていかなければなりません。経営上の理由から段階的な処方というところで、一〇〇%に至っていないということです。

の見直し等は検討されたのか。

担当者 過去の監査意見書において指摘事項があり、また、補助金の関係からも事業を見直すということで、当初のクリーン方式から費用の安いスクープ方式に変更しました。

下水道地図情報システム構築委託料

委員 システムの概要は。

担当者 すでに稼働している統合型地理情報システムのサブシステムとして構築するもので、事業の計画調整、用地の財産管理、占用の許可、閲覧業務等のさまざまな業務に活用するもので、効率的な維持管理に向けての情報管理を主要な目的とし、窓口で閲覧する事業者や市民の利便性向上も目的としています。

条例・その他

町田市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例

議員 今までの長期継続の契約の状況は。

総務部長 電気、ガスもし

委員会でも附帯決議

都市環境常任委員会では、付託された案件のうち第八〇号議案「平成一八年度町田市一般会計補正予算(第二号)」については、原案を可決すべきものと決しました。採決終了後に附帯決議が提出され、全員一致で左記の附帯決議を付すべきものと決しました。

記

一、歳出、款四、衛生費、

項三、清掃費、目五、塵芥処理施設整備費のうち、資源化施設整備費の執行に当たっては、平成一五年度の決算認定に当たって、監査委員より事業計画の見直しを含めて、早急に対応されたいとの意見が

付されており、また、費用対効果の観点からも、市民の幅広い意見を聞く等、慎重な対応を図るべきである。

また、予算の執行は、委員会に報告の上で、これをなされたい。

本会議の結果

一〇月五日の本会議において、第八〇号議案「平成一八年度町田市一般会計補正予算(第二号)」は、委員長の報告のとおり賛成多数をもって可決されました。

本会議の 質疑から

くは水の供給や電気通信役務の提供を受ける契約及び土地や建物の不動産を借りる契約で、地方自治法第二三四条の三で規定している、限定列挙されているものです。

予算

小・中一貫教育カリキュラム作成委員会委員謝礼

議員 委員はどのような人

か。

学校教育部長 有識者や教員など、専門的知識を有する者ということで考えています。

ごみ減量対策費(市民意識調査委託料)

議員 調査の目的と内容は。清掃事業部長 家庭ごみ等の有料化一年を迎えるに当たり、有料化制度の検証と今後のごみ処理施策の参考資料にするため実施します。内容は、二〇〇三年八月に実施した市民意識調査の設問項目を基本にし、その変化を調査します。

消防署から感謝状

町田市議会は、応急救護知識の普及向上に努め、市民の安全確保に貢献したことに對し、九月九日付で、町田消防署から感謝状をいただきました。



感謝状を受ける正・副議長